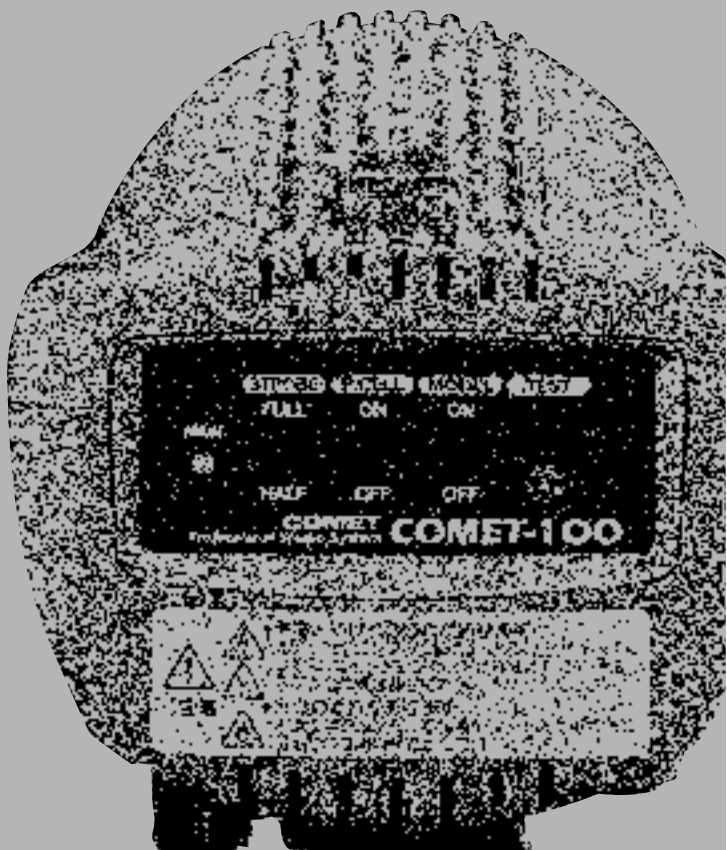


**COMET**

# COMET-100

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見  
られるところに保管してください。



# はじめに

---

このたびは、COMET-100 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
本機はモノブロック機の利便性をさらに追求して超小型化、軽量化を図るとともに大型ストロボの精度と堅牢さを兼ね備え、撮影アクセサリもアンブレラなどが使用でき活用範囲を大きく広げます。  
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分にご理解いただいた上でご活用ください。

## セット内容

---

### COMET-100 付属品

● S モデリングランプ	35W-100V	1
● CR- シンクロコード (ホーンジャックタイプ)	5 m (ストレート)	1
● ヒューズ	3A	1
● 取扱説明書		本書
● 保証書		

### アンブレラセット

● COMET-100	1
● アンブレラ 45	1
● CMS-4B ミニスタンド	1
● CMT 布バッグ	1

### 入門セット

● COMET-100 アンブレラセット	1
● コメットフラッシュメーター EX-1	1
● CMT 布バッグ	1

## 目次

---

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上の注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~7
4. 組み立方	8
5. 操作手順	9
6. 出力セクター	10
7. モデリングランプスイッチ	10
8. フォトセル	10
9. 温度保護機能	11
10. モデリングランプの交換	11
11. ヒューズの交換	11
12. 保証とアフターサービス	12
13. 仕様	13

# 1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱

いをするとうるることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

**危険**：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

**警告**：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

**注意**：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



## 警告



■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修

理・改造をしないでください。

電源部には、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部に長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態、素足での操作はしないで

ください。

漏電による感電の恐れがあります。



■モデリングランプの交換や清掃など、キセノンランプ部に触れるときは、ランプの電極部には絶対手を触れないでください。

メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も内部には長時間高電圧が残っており

感電の恐れがあります。特に清掃を行うときは、一日以上使用していないときに限って行ってください。



■本体スリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。

■重いものをのせたり、落下しやすいところや磁

気、ほこりの多い場所に置かないでください。

ケガ、発熱、発火、破損の原因になります。





- ストロボは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。

- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなど

を使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。

- 使用電圧は AC100V ± 10%(50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると故障、発火、火災の原因となります。

- ACコードを着脱する時は必ずメインスイッチ、

モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。



- 安全のため小児が使用の際には、保護者が正しい使用方法を十分に教えてください。また、使用中にも、正しく使用しているか注意してください。



- 乳幼児の手の届かない所で使用・保管してください



## 注 意



■使用中や使用直後は、キセノンランプとモデリングランプはかなりの高温になります。十分に温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



■ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

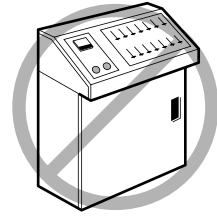
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



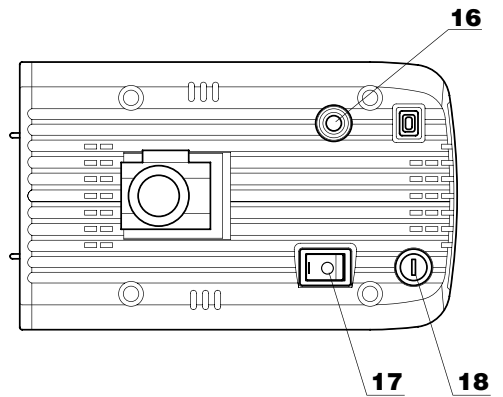
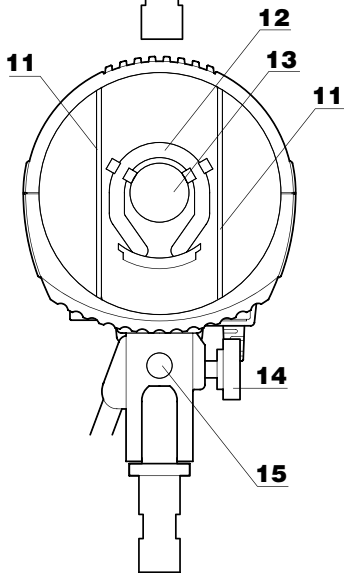
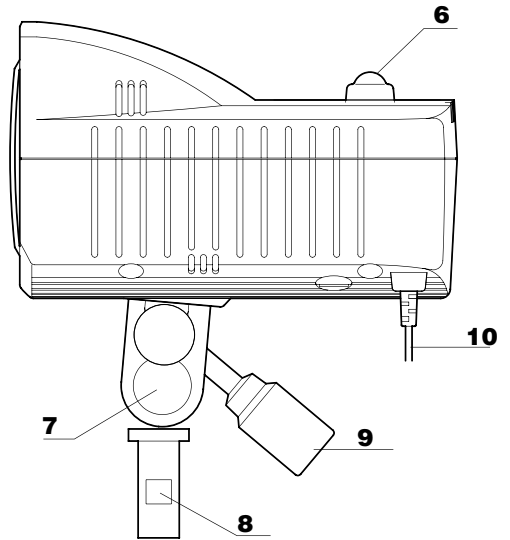
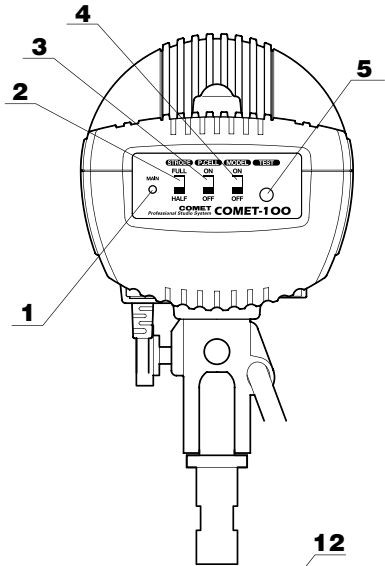
■使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



- 調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。



- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1~2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。  
長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。
- 過酷な使用で万一温度保護機能がはたらいたときは発光停止となります。このときはメインスイッチを「OFF」にし、内部の温度が下がるまで使用を中止してください。
- 赤外シンクロ装置（当社製）の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。  
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。このときはすべてのストロボ電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。  
赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のときは、同調発光しない電源部が出る場合があります。





## 1 ACパイロットランプ (MAIN)

メインスイッチを「ON」にすると点灯します。

ストロボ出力を「FULL」と「HALF」にきりかえます。

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。

## 4 モデリングランプスイッチ(MODEL)

モデリングランプを「ON」または、「OFF」にします。

充電完了後に軽く押すと発光します。

## 6 充電完了ランプ フォトセル兼用

充電が完了すると点灯します。他のストロボ光を受光するための受光素子が内蔵されています。

本体を支える部分で、バン棒により角度を調整して固定しま

ライトスタンドに立てます。

雲台を固定します。

コンセントに接続します。使用後は必ずコンセントからACコードを抜いてください。

発光部を保護します。

ストロボの発光管です。使用中、使用直後はかなりの高温になります。絶対に手をふれないでください。

S- モデリングランプ 35W-100V を使用します。  
ストロボ光の照射範囲の確認につかいます。

アンブレラを固定します。

アンブレラを使用するときは、この穴にアンブレラ軸を通しま

## 16 シンクロソケット

ホーンジャックタイプのシンクロコード（付属品）でカメラと接続します。

AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコードをコンセントから抜き取ってください。

## 18 ヒューズ

ストロボを保護します。ヒューズは定格 3A を必ずお守りくださ

# 4 組み立方

## ■ 1. スタンドを設置します

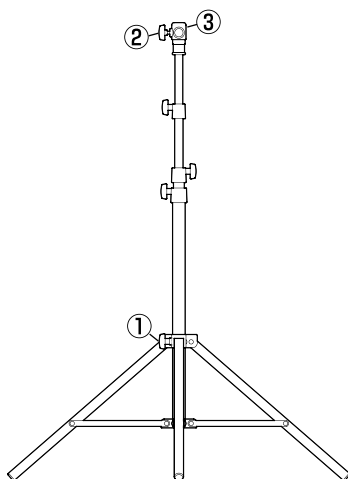
スタンドの三脚部を開き脚固定ネジ①で固定します。

平らで水平な場所に設置してください。

## ■ 2. スタンドに取付けます

本体雲台部ダボをスタンドダボ受けに差し込みダボネジ②で固定します。

通常は、垂直に差し込みますが、ライティングの方法によっては横向きのダボ受けも使用できます。③



## ■ 3. アンブレラを取付けます

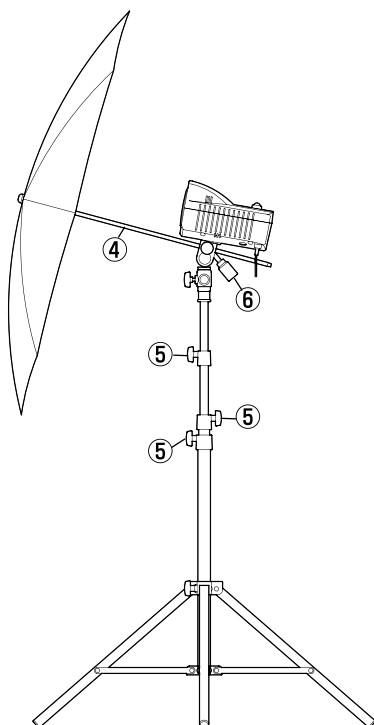
アンブレラを開き、アンブレラ軸を本体雲台部アンブレラ取り付け穴に差し込み、本体雲台部アンブレラ固定ネジで固定します。④

## ■ 4. スタンドの高さを調節します

スタンド固定ネジを緩め、発光部の高さを決めて、固定ネジを締めます。⑤

## ■ 5. 発光部の角度を調節します

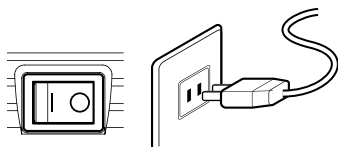
パン棒⑥を緩め本体の上下左右の位置を調節し、固定します。



# 5 操作手順

## ■ 1. ACコードを接続してください

メインスイッチが「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードをコンセントへ差し込みます。



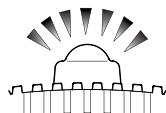
## ■ 2. メインスイッチを「ON」にしてください

メインスイッチを「ON」にすると、ACパイロットランプ (MAIN) が点灯し、充電がはじまります。



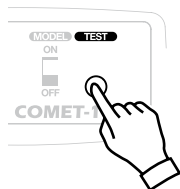
## ■ 3. 充電の完了

充電が完了すると本体上部の充電完了ランプが点灯し、発光の準備が完了します。



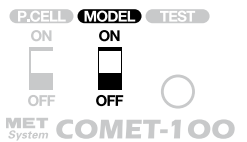
## ■ 4. テスト発光をしてください

テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押し、正常に発光することを確認してください。



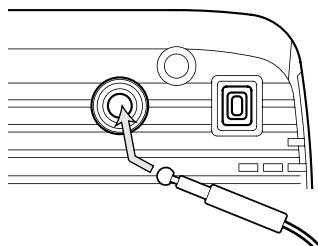
## ■ 5. モデリングランプの使用を選択してください

モデリングランプを使うとき、モデリングランプスイッチ (MODEL) を「ON」にします。



## ■ 6. カメラとのシンクロを確認してください

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。



### 【お願い】

- 本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ (同調) テストをされるようお勧めします。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラは、シャッター速度を 1/60 秒～ 1/30 秒で使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ (同調) しないことがあります。

ライティングの状態に合わせて、出力を FULL (100Ws) と HALF (50Ws) を選択します

■出力を FULL から HALF に切り換えたとき一度発光させてください  
再び、充電が完了すると HALF の出力値に設定されます。

※ FULL から HALF に下げたとき内部に溜められている電気エネルギーは、直ちに HALF の出力値にまで下がりません。

■出力を HALF から FULL に切り換えたとき発光操作は必要ありません  
設定された FULL 出力値まで自動的に充電が行われます。充電完了ランプがいったん消灯し、充電が完了すると点灯します。

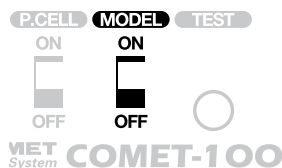


## ■ ON

モデリングランプを点灯します。

## ■ OFF

モデリングランプを消灯します。



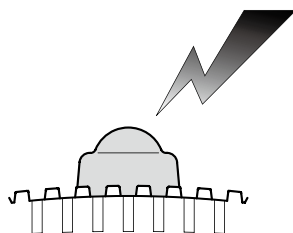
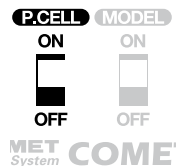
# 8 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光をさせるとき「ON」にします  
同調発光させないとき「OFF」にしてご使用ください

### 【ご注意】

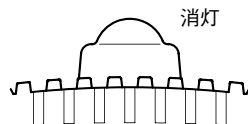
- 直射日光、室内照明の真近など、強い光が当たると作動しないことがあります。

直射日光をさけ、室内照明よりフォトセル受光部を 50cm 以上、離してセットしてください。



長時間の連続発光などにより、内部の電子部品が所定の温度以上になったときは充電完了ランプが消灯し、発光を停止します。

このような状態の時は一時使用を中止し、メインスイッチを「OFF」にして、風通しの良い所に置いてください。



モデリングランプは S- モデリングランプ 35W-100V を使用します。

### 注意



- 使用している電源部のメインスイッチを「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いてください。



- 消灯直後は非常に高温です。十分温度が下がってから取り扱ってください。火傷の恐れがあります。

### 【ご注意】

- モデリングランプの定格は必ずお守りください。定格以上のものを使用すると、発熱で故障、破損や発火の原因となります。
- モデリングランプやキセノンランプは素手で触れないでください。指紋や汚れが付いたときは、乾いた布などで拭き取ってください。そのとき、AC コードをコンセントより抜き

## ■ヒューズ定格は 3A です

ヒューズホルダーの蓋をマイナスドライバーで軽く押し込み反時計方向に回して、はずします。断線したヒューズを取り出し、ヒューズ定格 3A のものと交換してください。取り付けは軽く押し込み時計方向に回します。

### 注意



- ヒューズ交換は、メインスイッチを「OFF」にし、必ず AC コードをコンセントから抜いて行ってください。
- ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。定格以外の使用は発火や火災の原因となります。

# 12 保証とアフターサービス

---

## ■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

## ■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

## ■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

## ■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

## ■修理・点検後のご注意

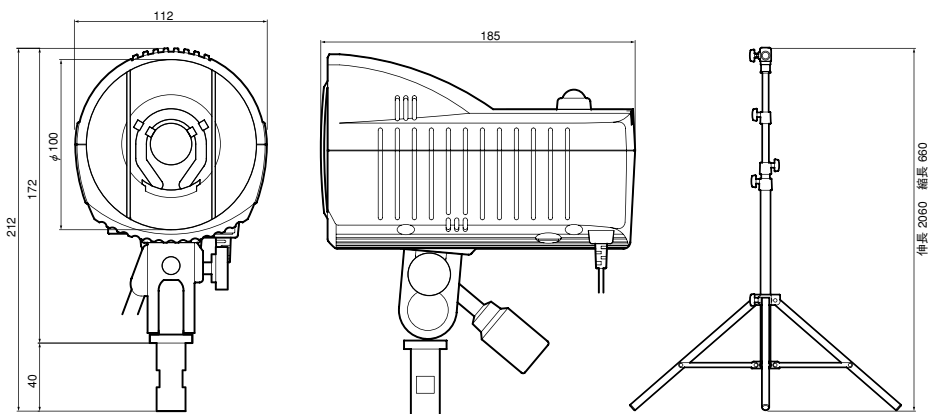
修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

品名	COMET-100
型式	CMT-100
定格電圧	AC100V±10% 50/60Hz
ヒューズ定格	3A
最大出力	100Ws
出力調光	FULL(100Ws) / HALF(50Ws)
出力調光方式	電圧調光
キセノン放電管	OFU-55-30
充電時間(秒)	2.5
照射角度	※ 60°
閃光時間(秒)	※ FULL 1/1400 / HALF 1/1200
F値実測 2m(ISO100)	※ FULL F8.0 <sub>1/2</sub> HALF F5.6 <sub>1/2</sub>
モデリングランプ定格	35W-100V
モデリングランプスイッチ	あり
充電完了ランプ	充電完了と同時に点灯
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ
シンクロ電圧	DC12V
フォトセル	内蔵(スイッチ付)
テスト発光スイッチ	あり
温度保護機能	あり
寸法	112(W)×172(h)×185(d) (mm)
重量	900g


※測定データは当社スタジオ測定によります。(ISO規格準拠 1/60sec ISO100)



単位 mm

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

## ●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ!

愛情点検	こんな症状はありませんか	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても所定の時間で充電しない</li> <li>●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する</li> <li>●ヒューズがすぐ切れる</li> <li>●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感じる</li> <li>●その他の異常や故障があるとき</li> </ul>	▶
		このような症状のときは直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

- ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

## アフターサービスについてのご相談は

# COMET®

## コメット株式会社

本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805 札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003 仙台市東区南光台4-29-25 サンエハイム101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8625	FAX.(03)3264-8628
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051 広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042 福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒135-0023 東京都江東区平野2-16-20	TEL.(03)5245-3834	FAX.(03)5245-3836
産業機器部	〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-8624